

2021年12月23日

各 位

会社名 サイボウズ株式会社
本店所在地 東京都中央区日本橋二丁目7番1号
代表者の役職氏名 代表取締役社長 青野 慶久
(コード番号4776 東証第一部)
問い合わせ先 IR担当
電話番号 03-4306-0808(代表)

連結業績予想、個別業績予想の修正、 次期業績予想、および次期配当予想に関するお知らせ

当社は、2021年10月26日に公表した2021年12月期通期の連結業績予想、個別業績予想の修正、次期業績予想、および次期配当予想について、下記のとおりお知らせいたします。なお、当期(2021年12月期)配当予想については変更ありません。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 2021年12月期 通期連結業績予想数値の修正 (2021年1月1日～2021年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2021年10月26日公表)	百万円 18,452	百万円 590	百万円 665	百万円 ▲213	円 銭 ▲4.64
今回修正予想(B)	18,463	1,140	1,208	408	8.89
増減額(B-A)	11	550	543	621	-
増減率(%)	0.1%	93.2%	81.7%	-	-
(ご参考) 前年同期実績 (2020年12月期)	15,674	2,270	2,272	1,435	31.30

(2) 業績予想修正の理由

今回の修正としましては、売上予測と投資予定費用の見直しを行ったため最新の業績予想を公開するものです。売上高につきましては、国内のクラウド事業の売上が堅調に推移し前予想と比べ11百万円増加し18,463百万円となる見通しです。利益項目につきましては、営業利益は前予想と比べ550百万円増加し1,140百万円、経常利益は前予想と比べて543百万円増加し1,208百万円となる見通しです。全体の投資方針に変更はありませんが、年内の投資計画を精査する中で、人件費、広告宣伝費、オフィス関連費等、各投資施策で年内に費消しないことが確定した予算が積みあがってきたことが主な要因です。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前予想と比べて621百万円増加し408百万円となる見通しです。これは、法人税の見込み額を精査し特別控除等を織り込んだため、法人税等の金額が減少することが主な要因です。

2. 個別業績予想の修正

(1) 2021年12月期 個別業績予想値の修正 (2021年1月1日～2021年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2021年10月26日公表)	百万円 18,020	百万円 2,624	百万円 ▲157	円 銭 ▲3.40
今回修正予想(B)	18,013	3,116	460	10.02
増減額(B-A)	▲7	492	617	—
増減率(%)	▲0.0%	18.8%	—	—
(ご参考)前年同期実績 (2020年12月期)	15,299	3,666	1,466	31.96

(2) 業績予想修正の理由

今回の修正としましては、売上予測と投資予定費用の見直しを行ったため最新の業績予想を公開するものです。変更の理由については、連結業績予想の修正理由と同様であるため、記載を省略します。

3. 次期業績予想

(1) 次期業績予想開示の理由

本日取締役会において、次期業績見通しが決議されましたのでお知らせいたします。

なお、次期につきましても、クラウド事業の環境変化をとらえつつ、状況に応じて機動的に投資していくことを基本方針といたします。見通しについても常に変化を続ける状況であることから、2022年2月14日公表予定の2021年12月期決算短信も含め、今後も次期業績予想が変更になる可能性があります。

(2) 2022年12月期 連結業績予想 (2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
2022年12月期 (通期)	百万円 21,730	百万円 345	百万円 401	百万円 ▲429	円 銭 ▲9.35

(3) 次期連結業績の見通し

2022年12月期の連結売上高はクラウド関連事業が引き続き伸長し、21,730百万円となる見込みです。ストックビジネスであるクラウド事業は契約社数が47,000社を超え、既存顧客によるユーザー数追加も順調であり、今後もこの傾向は継続すると考えております。クラウド事業の堅調な売上増加を踏まえ、次期も引き続き将来の収益力を高めるための積極的な投資を行いたいと考えております。特に国内外でのクラウドサービス認知度を向上させるための広告宣伝、国内のクラウドサービス用サーバー機材の増設、人員採用については投資を拡大する予定です。広告宣伝については、当期、kintoneのTVコマーシャル等の広告を積極的に実施してきました。国内の事業基盤を盤石にすると共に、さらなる拡大に向け、次期についてもkintoneのTVコマーシャルを含めた認知施策には積極的に投資していく予定です。国内のクラウドサービス用サーバー機材の増設につきまして、特に当期完成した新しいクラウドサービス基盤の機材増設を行う予定となっております。

利益項目につきましては、上記のように当期に引き続き積極的な投資を実施する予定であることから、営業利益345百万円、経常利益401百万円となる予定です。親会社株主に帰属する当期純損失につきましては、429百万円となる見通しです。これは国内での収益を元に米国市場での投資を引き続き加速させる予定であり、法人税等524百万円を計上する見込みであるためです。

なお、当社はクラウド事業の環境変化に対して機動的に対応し、都度最適な投資判断を実施することとしているため、予測値は常に変動いたします。今後の進捗につきましても、状況に変動が生じ次第、即時に開示を実施することで、常に社内と社外の情報格差がない状態を維持していく予定です。

(4) 2022年12月期 個別業績予想 (2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
2022年12月期 (通期)	百万円 21,181	百万円 2,698	百万円 ▲278	円 銭 ▲6.05

(5) 次期個別業績の見通し

2022年12月期の個別業績の見通しにつきましては連結業績見通しの傾向と同様であり、売上高は21,181百万円となる見込みです。利益項目につきましては、経常利益は2,698百万円となる見込みです。当期純利益につきましては、連結子会社である Kintone Corporation (米国) 株式会社について減損処理を行う見通しであり、そのための関係会社株式評価損を特別損失に織り込んでいることや、法人税等の計上を見込んでいること等から、当期純損失が278百万円となる見通しです。

4. 次期配当予想

(1) 2022年12月期 配当予想の内容 (2022年1月1日～2022年12月31日)

	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
次期予想 (2022年12月期)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 13.00	円 銭 13.00

(2) 次期配当予想の理由

当社は永続的な成長を目的としております。そのため主力であるクラウド事業の拡充に向けた機動的投資の重要性を高く認識すると共に、業績動向等を勘案した上で、株主の皆様への長期保有につながるような利益還元策の実施を基本方針としております。

この基本方針のもと、次期配当予想については、2022年12月期連結業績は積極投資方針のため赤字になる見込みであるものの、クラウド事業が堅調に売上増加する見込みであることから、当期配当予想額より1株当たり1円増額し、1株当たり年間配当予想を13円といたします。なお、今後の業績動向や投資状況の変化によって変更する可能性があります。

(参考) 年間配当の内訳

	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
次期予想 (2022年12月期)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 13.00	円 銭 13.00
当期予想 (2021年12月期)	—	0.00	—	12.00	12.00
前期実績 (2020年12月期)	—	0.00	—	11.00	11.00

以上